

琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会

令和元年度 総会

(書面開催)

報告事項

- (1) 「世界農業遺産」認定に向けた取組状況 (資料1)
- (2) 令和元年度 事業報告 (資料2)
- (3) 令和2年度 事業計画 (資料3)

※ 上記(2)および(3)については、本来議案とすべきところ、報告事項とさせていただきますが、御意見・御提案等ございましたら、随時、事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。

(協議会事務局：滋賀県農政水産部農政課)
〒520-8577 大津市京町4-1-1
TEL 077-528-3825 / FAX 077-528-4880
E-mail shiga-giahs@pref.shiga.lg.jp

「世界農業遺産」認定に向けた取組について

1 「世界農業遺産」とは・・・

- ・「世界農業遺産」とは、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり形作られてきた伝統的な農林水産業とそれに関わって育まれた文化、景観、生物多様性などが一体となった世界的に重要な農林水産業システムを国連食糧農業機関（FAO）が認定するもの。
- ・世界ではこれまで、22 か国、59 地域（日本国内は 11 地域）が認定済（令和 2 年 3 月現在）
- ・「世界農業遺産」の認定申請には、国による「日本農業遺産」の認定および F A O への申請に係る承認が必要。

2 「日本農業遺産」に認定された「琵琶湖システム」とは・・・

（1）琵琶湖システムの名称

「森・里・湖（うみ）に育まれる 漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」
（通称「琵琶湖システム」）

（2）琵琶湖システムの概要

- ・琵琶湖の伝統漁業や、琵琶湖の魚が産卵や繁殖にやってくる「魚のゆりかご水田」、水環境や生態系の保全に寄与する「環境こだわり農業」や水源林の保全など、滋賀の風土と歴史のなかで生み出されてきた「琵琶湖と共生する農林水産業」

（3）申請地域

- ・回遊する湖魚を対象に資源保全と一体となった伝統漁業が受け継がれている琵琶湖
- ・琵琶湖の集水区域内で、湖魚の生息環境の保全に寄与する取組が多様な主体の参画によって行われている以下の地域
 - ・湖魚が産卵のために遡上する水田（魚のゆりかご水田）と、琵琶湖の水質・生態系保全に寄与する取組を行う農地（環境こだわり農業推進条例に基づく活動実施農地）
 - ・河川に遡上して産卵する湖魚の保全に寄与する水源林整備の実施地域

（4）保全計画（アクションプラン）

- ・琵琶湖システムの持続可能性を高められるよう、農林水産物の魅力発信、消費拡大に向けた取組、後継者育成などの行動計画を作成。

（記載内容の一部）

- ① 農林水産業従事者の確保や育成
 - ② 消費拡大につながる取組
 - ③ 農業遺産に係る名称などを活用したブランド力向上と販売促進
 - ④ エコツーリズムやグリーンツーリズムの推進や、これらを通じた移住・定住・関係人口の増加による農山漁村の活性化
- ・認定後はモニタリングし、進行管理を行う。

3 期待する「世界農業遺産」認定の効果

(1) 自信と誇りの創出

- ・琵琶湖の環境に配慮した農林水産業者の努力を世界にPRし評価を得る。

(2) ブランドカアアップ・高付加価値化

- ・「世界農業遺産」関連商品（環境こだわり農産物、琵琶湖の水産物等）の付加価値向上。

(3) 農山漁村の活性化

- ・注目度の向上を、都市農村交流など地域資源を活用した観光の推進、企業との連携等につなげる。

4 申請団体「琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会」

- ・平成30年3月29日設立

- ・協議会役員

会 長 滋賀県知事

副会長 滋賀県農業協同組合中央会会長・滋賀県漁業協同組合連合会会長・
市長会会長

- ・幹事会・会員

幹 事 県内19市町農政関係課、県域団体、県

会 員 団体会員124団体、個人会員580名（令和2年3月末現在）

- ・協議会の役割

- ① 「世界農業遺産」認定申請書および保全計画（アクションプラン）の作成・提出
- ② 「世界農業遺産」の取組を広く県民運動として盛り上げるための情報提供
- ③ 「世界農業遺産」認定等を通じた本地域の農林水産業の振興と地域活性化
- ④ 認定後の保全計画（アクションプラン）の進行管理 など

5 認定に向けたスケジュール

- ・「日本農業遺産認定」/「世界農業遺産の認定に向けたFAOへの申請の承認」（平成31年2月）
- ・国連食糧農業機関（FAO）への申請
（令和元年10月）
- ・FAOによる書類審査
（令和元年11月）
- ・FAOによる現地調査
（時期未定）
- ・世界農業遺産認定適否の決定
（時期未定）

FAO Food and Agriculture Organization of the United Nations

GIAHS Globally Important Agricultural Heritage Systems

Lake Biwa System for Freshwater Fisheries and Agriculture

Summary Detailed Information Partners Annexes

Summary

The Lake Biwa System is centered on traditional inland water fisheries which have developed along with paddy agriculture that provides safe breeding grounds for spawning lake fish. For more than 1,000 years, the fishermen have been using and improving various types of passive fishing methods to catch migrating fish together with adapted social rules and local culture to ensure the sustainability of the natural resources.

1 総会・幹事会

月 日	場 所	項 目	内 容	備考
2月17日	県庁新館 7F 大会議室	幹事会	(報告事項) 「世界農業遺産」認定に向けた取組について (議案) 第1号議案 総会の開催について 第2号議案 総会付議事項について ・令和元年度 事業報告(案) ・令和2年度 事業計画(案) 第3号議案 琵琶湖サポーターズ・ネットワークへの加入 について	
令和2年6月		総会	(書面開催) 報告事項 令和元年度事業報告、令和2年度事業計画	

2 啓発事業

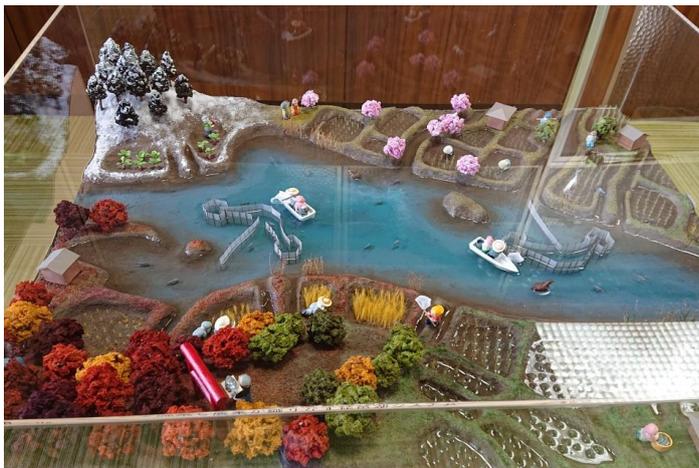
月 日	場 所	項 目	内 容	写真
4月20日～21日	東京 (ここ滋賀)	日本農業遺産 認定記念フェア	・「日本農業遺産」認定された「琵琶湖システム」をPR ・湖魚や魚のゆりかご水田米の試食やクイズなどを実施	①
4月～5月	県内各地の 直売所他	日本農業遺産認 定キャンペーン	・県内の農産物直売所等で、関連産品に指定の応募券を添付し、 御応募いただき、抽選で、「みずかがみ」や湖魚をプレゼント	②
5月13日～14日	びわ湖ホー ル他	気候変動に対応 する農業技術国 際シンポジウム	・シンポジウム会場内での展示や映像紹介 ・農水大臣や海外参加者向けにエクスカッションで現地を紹介	③
6月29日～30日	ピバシティ 彦根	びわ活フェスティ バル	・びわ湖の日イベントとして、ブース出展 (約350名が参加)	④
11月14日	大阪商業大 学	特別講座	・経済学部学生などに対して「琵琶湖システム」を講義	
11月16日	東京(豊洲)	農業遺産展	・農水省主催による「世界(日本)農業遺産展」で各認定地域がPR	⑤
11月22日	東京	びわ湖の日講座	・立命館大学東京キャンパスにて「日本農業遺産」に認定された 「琵琶湖システム」とともに、琵琶湖の湖魚やそれらに関わる伝統 的な食文化などを紹介	⑥
12月7日	東山中学	びわ湖の日講座	・出前授業で「琵琶湖システム」を講義	
12月7日	大阪	びわ湖の日講座	・龍谷大学大阪キャンパスにて「日本農業遺産」に認定された「琵 琶湖システム」とともに、琵琶湖の湖魚やそれらに関わる伝統的な 食文化などを紹介	
12月12日	京都産業大 学	特別講座	・経済学部学生などに対して「琵琶湖システム」を講義 (グリーン活動ネットワークとのコラボ)	
12月14日	ピアザ淡海 大会議室	第6回世界農業遺 産シンポジウム	・地域の活性化につながる「世界農業遺産」認定とその活用につい て学ぶための活動事例を紹介 (約130名が参加)	⑦
1月21日～31日	県庁県民サロン(展示)		・日本農業遺産について サロンにてPR展示を実施	
3月下旬～4月上旬	琵琶湖博物館ギャラリー展示		・日本農業遺産について春休み期間 PR展示 (予定)	
年 間	県内各地	出前講座	・県内大学、小中学校など、若者や子どもたちに琵琶湖と共生する 農林水産業「琵琶湖システム」について講義等を実施。	
年 間	県内各地	もっと食べよう 近江米 啓発	・近江米振興協会などの主催による「もっと食べよう近江米」イベン トなどと連携し、県内のスーパーや量販店でPRを実施	

3 行事など

月日	場所	項目	内容	写真
4月19日	農林水産省	日本農業遺産認定式	・「日本農業遺産」認定証 授与式 ・認定地域からの発表	⑧
5月19日～22日	韓国 ハドン	東アジア 農業遺産学会	・日本、中国、韓国の農業遺産に関係する地域が参画し、地域のPRを行うと共に、各地域の取組などを学び研鑽する。 (来年度は中国浙江省にて 9月開催の予定)	
6月26日	農林水産省	世界農業遺産申請に関する発表	・世界農業遺産等専門家会議委員（農水省）に対する申請書発表	
10月8日	FAO	FAOへ申請書提出	・農水省を通じて、申請書・保全計画を提出	
11月14日	FAO	書類審査	・FAOによる書類審査 (世界で14地域が審査対象)	

4 その他

- ・メルマガ配信（会員通信）
- ・関係団体への講演
- ・SNS（facebook）やホームページなどによる情報発信
- ・世界農業遺産PRのホームページ開設
- ・琵琶湖システムの見える化を目指した「ジオラマ」制作（成安造形大学 協力）
- ・啓発資材（木製コースター・ティッシュ・風船等）の配布
- ・大横断幕の設置「祝 日本農業遺産認定」 など



「琵琶湖システム」のジオラマ
(成安造形大学の皆さんに
制作いただきました。
県庁県民サロンでの展示後、
琵琶湖博物館等での展示に向けて
調整を行っております。)

「琵琶湖システム」ホームページトップ画面

琵琶湖と共生してきた 農林水産業
「日本農業遺産」に認定されました！
さらに「世界農業遺産」の候補に！

伝統的な琵琶湖漁業、環境こだわり農業、
魚のゆりかご水田、水源林保全などを
「琵琶湖システム」として、国連食糧農業機関(FAO)に申請中。

人と自然にやさしい持続可能な農林水産業
の次世代継承と、地域の活性化を目指しています！

STEP1 琵琶湖のシステムとは？
STEP2 祝日本農業遺産認定
目指せ！世界農業遺産認定
STEP3 琵琶湖と共に歩む
農林水産業
STEP4 琵琶湖の生きもの・
農水産物・
食文化と祭礼
STEP5 未来へつなげる
琵琶湖システム

「琵琶湖システム」ホームページトップ画面
(<https://www.pref.shiga.lg.jp/biwako-system/index.html>)

平成31年4月20日～21日 東京アンテナショップ「ここ滋賀」でのPR
「日本農業遺産」認定記念フェア



①

平成31年4月～5月 「日本農業遺産」認定記念キャンペーン

②



令和元5月13日～14日 「気候変動に対応する農業技術国際シンポジウム」



③

令和元年6月29日～30日 びわ活イベント (ビバシティ彦根)

④



令和元年11月16日 世界農業遺産・日本農業遺産展（東京・豊洲）

⑤



令和元年11月22日 立命館大学 東京キャンパス 「びわ湖の日講座」

⑥



令和元年12月14日 第6回 世界農業遺産シンポジウム（ピアザ淡海）

⑦



平成31年4月19日 日本農業遺産認定証 授与式（東京・農水省）

⑧



「世界農業遺産」認定を目指して 第6回シンポジウム 参加者アンケートより

令和元年12月14日(土)開催

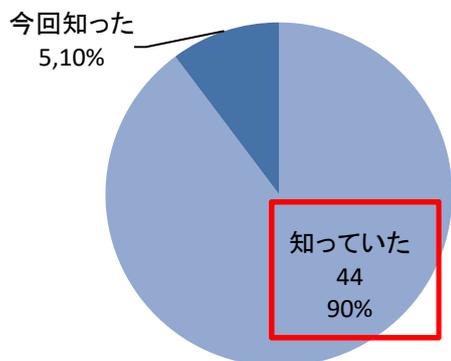
参加者:130名 アンケート回収者:49名(回収率:38%)

(単位:人)

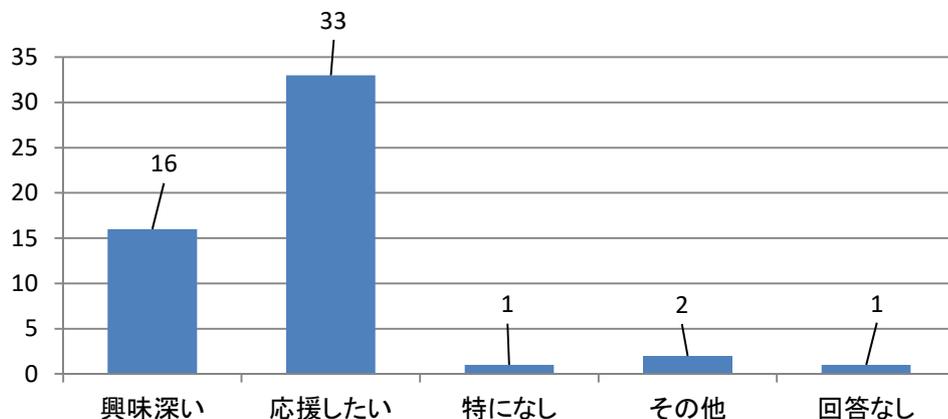
Q1:「世界農業遺産」という言葉は以前から御存じでしたか。(あてはまるものひとつ〇)

Q2:滋賀県が「世界農業遺産」を目指していることを知ってどう感じましたか。(複数回答可)

Q1. 認知度

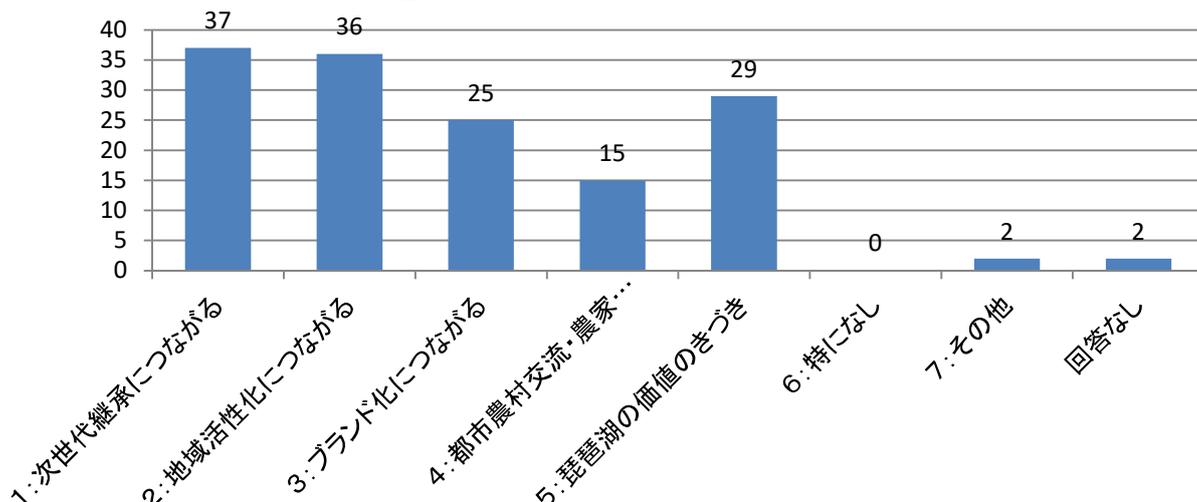


Q2. 「世界農業遺産」認定を目指すことを知って感じたこと



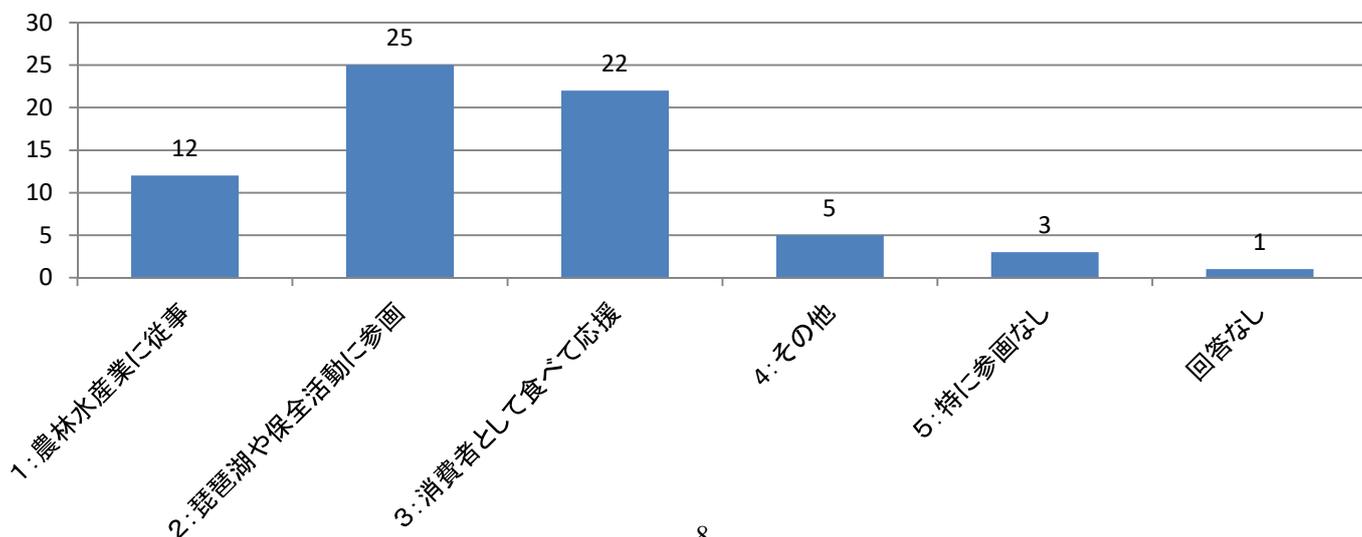
Q3:この度の「日本農業遺産」認定について、どのように感じますか。(複数回答可)

Q3. 「日本農業遺産」認定について



Q4:「琵琶湖と共生する農林水産業」への参画について伺います。(複数回答可)

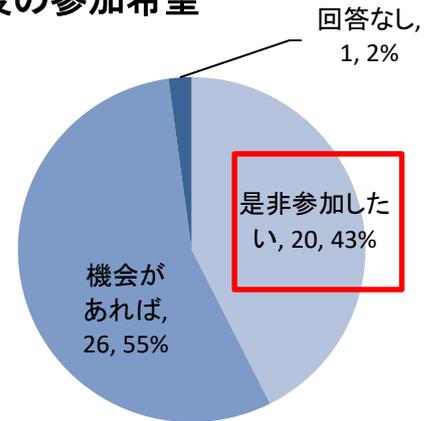
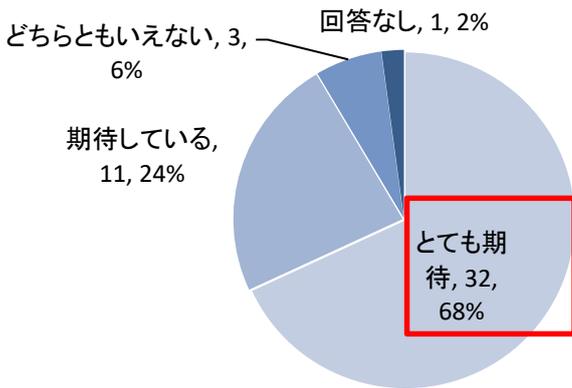
Q4. 琵琶湖と共生する農林水産業の参画について



Q5：これからの「世界農業遺産認定」への期待について
 Q6：本日のようなシンポジウムがあればまた参加したいか。

Q5. 「世界農業遺産認定」への期待について

Q6. 今後の参加希望



シンポジウムについて、また琵琶湖地域の「世界農業遺産」の認定について、御意見や応援メッセージ等

- ・世界農業遺産の関係人口を増やしましょう。
- ・小学校の授業に取り入れていただきたい。
- ・「琵琶湖システム」が農業遺産として、まだまだ県民に認知されていないと感じる。
- ・県内のみならず、関西、全国での文化・環境教育に寄与すると思う。
- ・認定されて世界にアピールしていただきたい。
- ・「世界農業遺産」の認定に貢献できる行動はどのようなことか？協力要請を打ち出してほしい。
- ・認定に向けた取組を通して、県民がまとまることがすばらしい。応援している。
- ・小中学生、特に小学生をいかにして巻き込むかで勝負が決まる。認定後に、どう維持・発展させるかも、子どもの力次第だと思う。
- ・子どもたちに伝えていきたい。
- ・早く「世界農業遺産」になれば・・・と、期待しています。
- ・SDGs、全ては持続可能性のために頑張りましょう！

「日本農業遺産」認定の活用等について、アイデアや御意見等

- ・「認定」されたこと自体を広く県民に周知・徹底することが大事だと思う。
- ・スーパーなどの店頭での販売活動や表示をもっと積極的にやってはどうか。
- ・マスコミ、SNSの影響力は非常に大きい。
- ・食を通じてPRを行う。
- ・ゆるキャラに頼らないロゴマークの作成。
- ・関係人口増のため、訪れた人の共通仲間意識が育つよう、ピンバッジがあれば嬉しい。ピンバッジは海外の人々にもうける。
- ・琵琶湖の恩恵を受けている全ての県民の参加を導いて頂きたい。

1 総会・幹事会

月 日	場 所	項 目	内 容	備 考
2月下旬		幹事会	(協議事項)総会付議事項について 第1号議案 令和2年度 事業報告(案) 第2号議案 令和3年度 事業計画(案)	
3月下旬		総会	(議案) 第1号議案 令和2年度 事業報告(案) 第2号議案 令和3年度 事業計画(案)	講演会を併せて開催(予定)

2 啓発事業

月 日	場 所	項 目	内 容	
年 間	県内各地	出前講座・シンポジウム	・県内大学、小中学校など、若者や子どもたちに琵琶湖と共生する農林水産業「琵琶湖システム」について講義等を実施 ・県内外の企業に向けてPR	
年 間	県内各地	農水産物の販売促進	・近江米振興協会の主催による「もっと食べよう近江米」イベントとの連携をはじめとする県内のスーパーや量販店、直売所でのPR ・関連スポットをまわるスタンプラリー、認定記念ツアー 等	
未定	県庁県民サロン／琵琶湖博物館	展示発表	・「琵琶湖システム」のPR展示	

3 その他

- ・ロゴマークの公募、選定
- ・メルマガ配信（会員通信）
- ・関係団体への講演
- ・SNS（facebook）やホームページなどによる情報発信
- ・啓発資材（木製コースター・ティッシュ・風船等）の配布
- ・大横断幕の設置 など
- ・その他 PRやイベントについては別紙参照

持続可能な農業の推進

「世界農業遺産」認定を活かす！



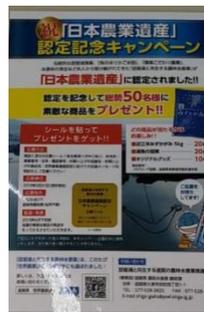
目的:「琵琶湖システム」の世界農業遺産認定を契機に、琵琶湖と共生する農業や漁業を、生産者、関係者が一体となって盛り上げる運動を展開し、生産者の意識の向上と、県産物のブランド力向上によりSDGsの達成につなげる。

課題 ○認定を契機として、さらに県民一丸となって「世界農業遺産」活用の機運を盛り上げていくために、様々な機会を通じて県内外に発信し、「琵琶湖システム」の魅力の周知を図る。
○ブランド力向上や観光振興に向け、観光部局や企業等、様々な主体と連携を進める。

■事業内容

1. 世界農業遺産認定の県内外への周知

1) 世界に誇る滋賀の農水産物の販促キャンペーンの実施



2) 琵琶湖地域「世界農業遺産」関連スポットをまわるスタンプラリーの実施

- ・協賛店の募集
- ・スタンプラリーを達成した人に「環境こだわり農産物」を賞品としてプレゼントする など



3) 認定記念ツアー企画・実施

- ・周遊モデルコースの開発
- ・モデルツアーの運営・実施



4) 認定記念シンポジウム等の開催

- ・ここ滋賀など首都圏での発信
- ・農水省記念式典 出展
- ・認定記念シンポジウム開催
- ・世界農業遺産展への出展（農水省主催）など



2. 世界農業遺産を見て、食べて、買えるスポットの整備

1) 琵琶湖地域「世界農業遺産」関連スポットにPR看板の設置
観光スポットにPR看板や多言語パンフレット(看板)等の設置(日・英・中・韓など)

(静岡の遺産地域の看板事例)



事例：静岡の認定地域看板

2) 主要直売所で湖魚・環境こだわり農産物等を食べて、買えるコーナーの設置

3) 農産物のPRで世界農業遺産認定を活かす工夫
(八珍食堂、こだわり米等)連携

- ・八珍食堂加盟店へのPR
- ・おいしが、うれしが加盟店へのPR
⇒ のぼりやミニのぼりなどの設置
⇒ 「世界農業遺産」認定記念 ランチの提案 など



事例 ビワマスと日野菜漬のお重